

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶点前の道具の使用方法を知る。 ②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。 ③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。 ④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。 ⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。		
授業計画	1	風炉濃茶点前 ・禅語「和敬清寂」 ・ワンポイントレッスン「礼儀作法・伝えたいTPO」 ・茶道文化の意義（教科書P7～P12）再確認 ・出し服紗の畳み方確認 ・茶入の扱い方、紐の結び方 ・席入り、退席、礼法復習 ・茶入の紐結び	
	2	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「梨花一枝春」 ・濃茶見本点前 ・風炉濃茶点前前半①	
	3	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「花看半開」 ・ワンポイントレッスン「熨斗の知識」 ・3種類の柄杓の扱い（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） ・風炉濃茶点前前半②	
	4	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「薫風自南来」 ・ワンポイントレッスン「袱紗について」 ・風炉濃茶点前前半③	
	5	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「悟無好悪」 ・ワンポイントレッスン「食事前に心がけること」 ・風炉濃茶点前後半①	
	6	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「千里同風」 ・ワンポイントレッスン「器の扱い方」 ・風炉濃茶点前後半②	
	7	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「本来無一物」 ・ワンポイントレッスン「衣替えについて」 ・風炉濃茶点前総復習①	
	8	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「無事」 ・ワンポイントレッスン「嫌い箸について」 ・風炉濃茶点前総復習②	
	9	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前 ・禅語「無心」 ・ワンポイントレッスン「身だしなみチェックシート」 ・風炉濃茶点前総復習③	
	10	学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前（内検）	

	<ul style="list-style-type: none"> ・禅語「白珪尚可磨」 ・ワンポイントレッスン「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） ・風炉濃茶点前（内検） <p>学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 風炉濃茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「歩々是道場」 ・実技試験のチェックポイント ・風炉濃茶点前練習 <p>学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 実技試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「平常心是道」 ・濃茶点前確認（実技試験） <p>学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 茶会の流れと花寄せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「閑古錘」 ・ワンポイントレッスン「禁花について」 ・花寄せ ・ミニ茶会計画・練習・学習帳 <p>学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道の歴史について合同講義 ・第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33） ・第5章 茶道における諸機能と茶道具について <p>15 班別ミニ茶会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「一期一会」 ・ワンポイントレッスン「夏を涼しく」 ・班別ミニ茶会 ・道具の片付け・アンケート・学習帳回収 <p>学習課題（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う</p>
授業形態	演習
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。 ⑤茶道点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> ①授業への参加意欲や授業態度 ②授業ごとの理解度を学習帳で確認する。 ③毎回の学習帳や最終回の感想文 ④濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか。道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか。客点前はできているか。など総合的に評価する。
評価基準	<p>関心・意欲・態度（茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。）授業態度：15%</p> <p>思考・判断（教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか。）学習帳の利用：10%</p> <p>知識・理解（お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立っているか。）行動や感想：15%</p> <p>技能・表現（濃茶点前を正確にできるようになったか。）実技試験：60%</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」</p> <p>テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）</p> <p>茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）</p> <p>毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）</p> <p>授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。 ⑥日本の礼法を学びましょう。 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。